

FMe-niwa 令和6年度 第6回放送番組審議会議事録

開催年月日 : 令和7年3月21日(金) 11:00~12:00
開催場所 : えにあす会議室4
審議内容 : 【合評】 これからのラジオに望むもの、e-niwaに望むもの
出席委員数 : 7名中、出席4名 放送事業者側出席:3名

【挨拶(代表取締役三浦)】

今日の議題のラジオの果たす役割ですが、情報化社会の中、情報の乱れが広がっています。そういった中でラジオの果たす役割が重要になってきます。聴いてくださっている方々に、事実をどのように正確に伝えていくかが、より大切になって来ています。今日の審議会でも忌憚なくご意見を頂戴したいと思っています。

【審議】

◆これからのラジオに望むもの、e-niwaに望むもの

- ・現状のFM77.8MHz=FM e-niwa を覚えている・聴いている人の調査。
- ・小中高の防災訓練時の啓蒙活動、園児の父母への啓蒙活動。
- ・e-niwa を聴く方法の周知(ミニCMを作る)
- ・e-niwa を聴ける環境を、関係事業者にお願い・提携する。
- ・災害対策ツールとしての価値を高め、スポンサーを獲得。
- ・災害時の最重要ツールとしてのアップデートと利用促進。
- ・SNSをしない人へ伝える内容、伝える方法を考えていく事が必要。
- ・娯楽的な内容を強めてみては。
- ・学校等との連携強化。
- ・千歳にはラジオが無いので、聴けば恵庭の情報を知る事ができるという事を、もっと周知しては。
- ・ネットとは格段に違う情報の正確さを、もっとアピール。
- ・恵庭のリアルなタイムリーな地域密着な内容は、ラジオを聴いてみるまでわからなかった。

そのような人を減らすための何かを。

- ・企業、CAFE等でe-niwaを放送してもらえる場所を更に増やしてみても(把握している限り50店舗程度)
- ・くらしを豊かにする内容の番組を増やして行く。
- ・人生相談のような、下世話な話も盛り込んでみては。
- ・卒園、卒業式に行けない方のために、編集しないまま音声を放送してみてもは。
- ・焚火だけのYouTubeのような内容のラジオも面白いのでは。
- ・幼稚園や学校に関しては、普段から防災に関する関わりを持つ必要がある。

【その他】

審議委員同士で情報共有その後、閉会。

総委員数 7名(敬称略)

- 出席 4名: 青木、伊藤、上森、落合
- 欠席 3名: 玉熊、前田、小塚

○放送事業者側出席 3名

代表取締役：三浦孝史 取締役：三浦真吾 職員：滝沢貴之

審議会の答申又は、意見の概要を公表した場合の公表内容

公表方法 自局内放送および局内掲示板にて

公表内容 上記の概要

公表年月日 令和7年 3月 24日